

■島根県教育センター

研修主題：心をむける

～子どもたちのことをわかるために心にとどめたいこと～

長期研修員 青木 リリ子（松江ろう学校）

教育相談スタッフ特別支援教育セクション

【 要 旨 】

本研修は、私が子どもたちの目の前にたった時に、子どもたちのことをわかるために大切にしたい「心をむける」ということについて、考え整理することを目的としている。

教育センターの来所相談や松江ろう学校幼稚部での所外研修において、相手に心をむけながらかかわることを通して実感した、心をむけることの大切さや必要性についてまとめている。また子どもたちのことをわかるために発達についての学びを深め、心をむけることと結びつけて考えたことについてまとめている。

【キーワード】

わかる 見る・きく・想像する 大事に想う 子どもの発達 願い・葛藤

研修主題：子ども一人一人がいきいきと学びに向かう姿を目指して

～学級の担任がおこなう「読み書きのアセスメントや支援」において大切にしたいこと～

長期研修員 須貝 菜津子（出雲市立神戸川小学校）

（教育相談スタッフ特別支援教育セクション）

【 要 旨 】

本研修は、子どもたちがいきいきと学びに向かっていけるように、読み書きのつまずきに着目し、その背景を理解して気づきの視点を広げること、子どもたちへの思いやかわり方、自分のあり方を見つめ直すことを目的としている。文献や研修から得た知識をもとに、読み書きを支える力を整理し、「木」に表現した。また、アセスメントツール作成や、来所教育相談、研修等を通して、アセスメントや支援において大切にしたい子どもの見方や自分のあり方を考察した。本報告書は、子どもを多面的・多角的に見ていくこと、心を寄せてかかわることの大切さについてまとめている。

【キーワード】

習困難 インフォーマルアセスメント リソース 心を寄せるかわり

■島根県教育センター浜田教育センター

研究主題：幼小の架け橋期における感情に焦点化した一次的支援の充実

長期研修員 太田 景子（邑南町立瑞穂小学校）
教育相談スタッフ

【 要 旨 】

本研修は、小学校入学時における１年生の期待感と不安感に対応する一次的支援の充実を目的としている。協力校での授業実践やアンケート調査、及び協力校校区の保育所でのインタビュー調査や研修会聴講等を通して、研修を行った。小学校入学により大きく環境が変わる中で、児童が幼児教育で培った社会情動的スキルを高めていけるよう、自分の感情に気づく手立てや幼小のつながりを意識した環境の構成や大人の関わりを探った。その結果、協力校の新入生を受け入れる際のよりよい環境づくりについて、様々な気づきを得た。これらの気づきを協力校の職員と共有できるよう、保育所の様子がわかるシートや入学時の一次的支援についてまとめたシートを作成した。

【キーワード】

幼小連携 感情理解 一次的支援 架け橋期

研究主題：児童の適応行動を増やすためのチームで取り組む支援の在り方

長期研修員 岡野 綾美（島根県立浜田養護学校）
教育相談スタッフ

【 要 旨 】

本研修は、児童の行動問題を減らし適応行動を増やすために、有効なチームでの支援の在り方について特別支援学校での実践等を通して考察することを目的としている。適応行動とは児童本人にとって役に立つ行動と定義する（以下「望ましい行動」と同じ意味）。応用行動分析の考えに基づき、先行研究にある各種シートを用いて支援を行った。結果、児童の行動問題が減少し適応行動が増えた。行動問題が示す行動の意味を考えた上で適応行動を具体的にし、行動の前後の環境を整えたことが有効であった。また、チーム支援において目に見える行動に注目し、シートを用いて具体的に支援の検討・実施をしたり、継続して記録を行ったりしたことによって共通認識をもちやすく支援が行いやすかった。さらに支援の構造化のためにはチームの教員の支援行動をＡＢＣ分析：Ａ（する事がわかる）Ｂ（負担ではない支援行動）Ｃ（やってよかったという経験の蓄積）して環境を整える教員の存在が必要であることがわかった。

【キーワード】

応用行動分析 チーム支援 適応行動 行動問題